

平成26年8月28日

## トイレトペーパーを備蓄しましょう！

～トイレトペーパーの備蓄推進に関するパネル展示を行います～

経済産業省では、9月1日の防災の日に合わせて、経済産業省本館1階で、トイレトペーパーの備蓄推進に関するパネル展示を行います。  
「備えあれば、憂いなし。」をコンセプトに、ご家庭での備蓄の必要性や備蓄用トイレトペーパーなどを紹介します。皆様のご来場をお待ちしております。

### 1. 趣旨

毎年9月1日は防災の日です。大震災などの大規模災害の際には、トイレ不足が問題となりますが、この原因の一つとして、トイレトペーパーの供給不足が挙げられています。

東日本大震災では、店頭から食品とともにトイレトペーパーが無くなるなど、被災地のみならず全国的にトイレトペーパー不足が発生した事実があります。

さらに、現在、トイレトペーパーの国内生産の約4割は、静岡県で行われており、万一、東海地震等で静岡県が被災した場合、トイレトペーパーが全国的に深刻な供給不足となるおそれがあります。

経済産業省の働きかけを受け、日本家庭紙工業会では、「トイレトペーパー供給継続計画」を策定し、災害の際には、その構成員であるメーカーがトイレトペーパーの増産等を行うことになっていますが、それでも1か月程度の混乱が予想されます。

このため、普段からご家庭で、日常用のトイレトペーパーとは別に1か月分程度のトイレトペーパーを備蓄されることをおすすめします。なお、備蓄は、普段お使いのトイレトペーパーの他、芯なし・長巻で省スペースでの収納可能な備蓄用トイレトペーパーを備えておく方法もあります。

本年の防災の日を機に、ご家庭でのトイレトペーパーの備蓄をはじめましょう。

### 2. 展示概要

日程：平成26年9月1日(月)～9月5日(金)

会場：経済産業省本館1階（財務省側広報スペース）

主催：経済産業省製造産業局紙業服飾品課

展示協力：日本家庭紙工業会、NPO 法人緊急災害備蓄推進協議会

展示内容：

- 日本家庭紙工業会の取組紹介パネル
- NPO 法人緊急災害備蓄推進協議会の取組紹介パネル
- 備蓄用トイレトペーパーの実物 など

(参考資料)

# トイレトペーパー の備蓄が必要な 3つの理由

1. 阪神・淡路大震災において、被災者が最も困ったのは食料でも衣服でもなくトイレ不足※1
2. 東日本大震災では、被災地のみならず全国的にトイレトペーパー不足が発生※2
3. トイレトペーパーの約40%は静岡県で生産  
→東海地震等が起こると深刻な供給不足となるおそれ※3



万々に備え、家庭で  
一ヶ月分の備蓄を!

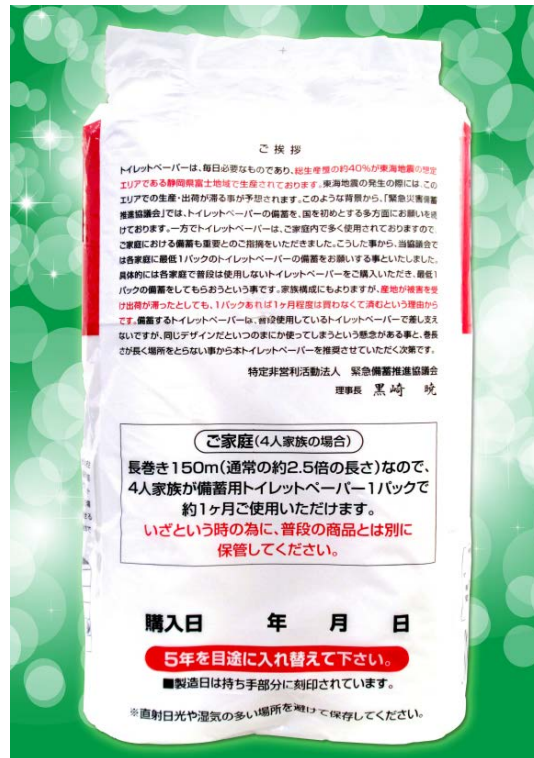
※1「帰宅行動シミュレーション結果等に基づくトイレ需給等に関する試算について」平成20年10月 内閣府  
※2「東日本大震災におけるガソリン・物流の課題」関谷直也(東洋大学社会学部)  
※3「トイレトペーパー供給継続計画」平成24年11月 日本家庭紙工業会

# (備蓄用トイレットペーパー)

## <表側>



## <裏側>



(本発表資料のお問い合わせ先)

製造産業局紙業服飾品課長 渡邊

担当者: 川崎、小暮

電話:03-3501-1089(直通)